

印西大師 番外 山田・迎坊

1 名称 (No.131/251)〔手引鏡：迎坊 (むかいほふ)〕〔資料館：むかいぼう〕

2 場所 印西市山田字光明寺130付近

畠中から道程約450m、円蔵寺から道程約610m

御堂の先・ガンショップの手前の舗装された農道を東進すると左側にソーラーパネルがあり、突き当りのT字路を左に進む。未舗装の農道を左折するとソーラーパネルの北側に御堂と墓石がある。(印西市山田130にあるTACOSという事業所の建物の間から道程約90mの位置で近いのだが私有地か?)

GPS座標 35.77038430738725, 140.23769910542995



3 由緒

4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が1体あり。

5 境内 大師堂の隣は墓地、南側はソーラーパネル

6 写真 (2024.01撮影)



大師堂



御大師様



大師堂



大師堂と墓石



大師堂の前のソーラーパネル



大師堂へ至る道は舗装されていない

7 情報

(1) 現地調査 (2024.01) から

畠中の近くの方から御大師様の場所を教えてくださいました。「迎坊」という名称から円蔵寺の向い側にある坊と予想して、この周辺を何度か探したことはあるのですが、こんな奥にあるとは思いませんでした。教えてもらわない限り、この場所にたどり着くことはないのではないかと思います。

(2) 参考までに

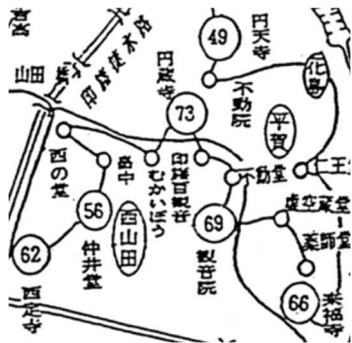
現地で探索するために、以前、迎坊の位置を推測した資料です。結果からみる一部推測どおりだったことがわかります。

ア 手引鏡から（東ルート）

手引鏡によると、円蔵寺→2丁10間(236m)→迎坊→10丁半(1,145m)→平賀不動堂となっている。つまり迎坊は円蔵寺から不動堂に至る途中にあり、円蔵寺から236m、不動堂から1,145mであるから、これを現在の地図に落とすと右図の東ルートのとおりで、赤の円で示した範囲内にあったのではないかと推測できる。

イ 資料館から（西ルート）

一方、印旛歴史民俗資料館の印西大師順路図



(左図) によると、迎坊は円蔵寺

の前の道路の南側で、印旛百観音と畠中の中に描かれている。円蔵寺から南西方面へ236mとなると宗像神社の参道入口付近である。現在、仲井構造改善センターがあるあたりになる。しかし、次の札所である平賀・不動堂が遠くなりすぎてしまう。そのため東ルートとは異なり田んぼ道を行く西ルートが考えられる。これだと現在、ソーラーパネルがあるあたりと考えられる。明治初期の迅速測図（右図。ただしこの時、迎坊の位置はまだ分かってなかった。）を見ると家はなく畑ばかりなので、このあたりとは考えにくいところである。

以上が、場所を推測したときの資料です。迎坊の場所が分かってしまえば、イの西ルートが妥当ということになります。手引鏡の時代は、迎坊から現在の成田射撃場付近に下り、そこから平賀・不動堂へ向かったのかもしれませんが。その後、印旛歴史民俗資料館の印西大師順路図のように東ルートに変更され、方向も反対で、平賀・不動堂から円蔵寺に向かうようになり、現在に至っているのかもしれませんが。

